

令和2年6月10日

東京都の小学校の先生方

東京都生活科・総合的な学習教育研究会
会長 齋藤 等
(渋谷区神南小学校長)

令和2年度 東京都小学校生活科・総合的な学習教育研究会 **新規** 推進委員募集のお知らせ

臨時休業が長く続き、各小学校におかれましては、学校再開後も様々なご対応をされていることと存じます。

さて、東京都小学校生活科・総合的な学習教育研究会では、100名を超える推進委員の先生方が7つの分科会に分かれ、実践を基盤とした活発な研究を進めています。

昨年度は、学習指導要領改訂を踏まえ、分科会を刷新し新たな研究をスタートさせました。そして、半年余りで裏面のようにそれぞれの分科会の研究の方向性が定まって来ました。令和2年度は、この研究方針で本格的な研究活動が展開されることとなります。この機会に、ぜひ、新しい仲間として研究を進めていただける方を募集します。

研究への参加を希望される方は、下記の要領及び裏面の表をご覧くださいの上、A～Gの7つの分科会より参加したい分科会をお選びいただき、メールにて下記の担当までお申し込みください。

記

- 1 下記申込用紙に必要事項をご記入の上、提出先まで、FAXで下記提出先に送信の上、原本を交換便でお送りください。所属校長様には認印をお願いします。

前年度までの研究推進委員の方は更新済みですので、提出の必要はありません。

- 2 本会主催の年間5回程度の全体会（総会<今年度は書面開催済>・講演会、公開授業研究会、夏季・冬季研究会等）及び随時開催される分科会へのご出席をお願いします。

- 3 申し込み期限 **令和2年6月30日（火）ファックスにて（その後、原本を交換便でお送りください）**

- 4 問い合わせ及び提出先 葛飾区立北野小学校長 景山 与賜也（研究部長）
FAX 03-5699-1295 電話 03-3607-3298

葛飾区立北野小学校長 景山 与賜也 あて Fax：03-5699-1295

東京都小学校生活科・総合的な学習教育研究会 **令和2年度：研究推進委員申込書**

_____区・市・町・村立_____小学校

校長氏名_____ 私印

学校電話_____ 学校 FAX_____

申込者 職_____ 氏名_____ 担当学年（ ）年

※ 希望分科会：（ ）裏面A～Gの記号 （ ）特に希望なし ← ○印で

※ 分科会については、〆切日以降に、各分科会の担当者から開催日等を連絡させていただきます。

<裏面へ>

【各分科会の会場・各分科会の研究テーマと概要】

	分科 会名	研究主題・テーマ（研究の視点） 主な会場校	研究の方法等
生活 科	A	「児童が思いや願いをもち続け、 深い学びを実現していく単元 づくり ～環境構成の工夫やカリキュラム・ マネジメントの充実を通して～」 目黒区立油面小学校 渋谷区立代々木山谷小学校	・はじめに、単元のプロセスやゴールで目指す深い学びを実現して いく姿、自分自身の生活を楽しく豊かなものにしていく姿を「単元 のストーリー」として設定する。次に、思いや願いをもつことがで きるような環境構成の工夫やカリキュラム・マネジメントの充実を 図る。そして、単元の途中でトラブルやアクシデントが起こった際、 ストーリーに沿った新たな手だてを講じる。 ・児童・学校・地域等の実態に合わせて、思いや願いをもち続け、深い 学びを実現するための導入場面を中心とした単元づくりを研究する。
	B	「人との関わりを通して、新たな気 付きを生み出す指導の工夫」 杉並区立松庵小学校	・意図的な交流を通じた発見は、新たな気づきを生み、深い 学びの実現に迫ることができるか、検証していく。 ・新学習指導要領における「気づき」と「新たな気づき」の 区別を明確にし、実践を行い、提案していく。 ・今年度は、深まりのある交流に向けて、児童が他者と自分 の違いなどを自覚して活動に生かせるよう「比較する」視点 を明確にしていく。
	C	「生活科の深い学びを支える 表現活動の工夫」 渋谷区立神南小学校	・表現活動に内在する3つの機能（目的・対象・方法）に着目し、 以下の3つを作成・検討する。①表現活動の位置付けを明確化した 単元指導計画、②表現活動の分類表、③表現活動の事例集。 ・今後は、気づきの質の高まりや多様な学習活動、学習評価、幼児 教育との接続との関係についても検討していく。
総合的な学習の時間	D	「ブレークスルーから始まる 深い学び」 新宿区立西戸山小学校	・実践事例を検証し、停滞感や行き詰まり感について検討す る。 ・PDCAのCに着目し、停滞感や行き詰まり感を突破する ブレークスルーの方策の提案をしていく。
	E	「発達段階を踏まえた目指す姿や 指導の工夫の明確化」 ～「中盤」に着目した検証授業の 比較を通して～ 武蔵野市立境南小学校	・「具体的な思考から抽象的な思考ができるようになっていく。」と いった発達の段階による児童の実態を捉えた上で、単元や授業をつ くることが必要と考える。今年度は発達心理学や他教科の内容をも とに基礎研究を行ったり、検証授業や所属メンバー間での実践の共 有を通して実践研究を行ったりしていく。
	F	「目的に合わせて考え、自分の 思いをもって表現できる児童 ～まとめ・表現の充実 に向けて～」 世田谷区立世田谷小学校	・児童が教科において身に付ける「表現」と教員の「総合的 な学習の時間における表現」に対する考えを調査研究すると ともに、児童が充実した「まとめ・表現」活動を行うために 有効な教師の手立てを探っていく。
らな生活科・総合的 学習両面か	G	「その時子供が動いた 生活科・総 合的な学習の時間の単元」 新宿区立落合第三小学校	・生活科・総合的な学習の時間の単元において、「子供が動き 出す場面」を作り出す要因は何なのか、実践における教師の 手だてや子供の姿から探っていく、実践をエビデンスにした 研究を行う。